

久宝寺地区



許麻の里 沢辺に生ふる  
かきつばた  
君か手毎に  
水やかかさん

発行者  
久宝寺地区福祉委員会  
委員長 津川 勝

八尾市北久宝寺2丁目1番1号  
八尾市 久宝寺出張所 内  
TEL 922-2233

「何でも言わん会特集」話し合いました！！久宝寺のまちづくり

「何でも言わん会」ってどんな会？

「えっ、あんたしらんの？」  
「私ら何回も参加しているよ」  
八年前にスタートし、参加された皆さんの声をまちづくりに反映し、まちを歩けば、こども、あそこもと改善されたところが多く見当たります。

しかし、見る目をかえると、まだまだ……。本年度も開催を予定していますので、気軽にご参加の上、多くのご提案・ご意見をお寄せ下さい。

今号では、団体別・地域別に開催された「何でも言わん会」について特集します。

久宝寺地区福祉委員会

委員長 津川 勝

青藍塾

実施日：平成26年11月22日 参加：十名

○活動の紹介

「地域に少しでも恩返しをしたい」「自分に何かできることはないか」と、子育て世代のお父さんたちが集まり、「おやじの会」としてスタートしました。

平成23年3月以降、「夜間パトロール」を39回実施、「ほっとステーション」の運営支援や、「好きやねん久宝寺・市民スポーツ祭」など福祉委員会の行事支援を行っています。女性メンバーも増えて、「女性部会」も発足し、今後は、「子どもの居場所」づくりにも取り組んでいきたいと考えています。

○意見と要望

・「ほっとステーション」もマジックや寸劇などの催しをすることで参加者が増えてきました。

・育成会（子供会）やPTAでの経験を活かすことができること、自由で自主的な活動環境に魅力を感じて参加しています。



青藍塾のみなさん、パトロールと清掃活動ご苦労さま

・南町三町会・南久宝寺神武町会内の府道八尾平野線で、午後七時頃、バイクとの接触事故で老人が亡くなった。この付近での横断は、歩道もなく、照明も暗いので危険だ。（対策として、道路面に車への注意抑制表示を行った）

・久宝寺二丁目の府道横断歩道橋の西側下での点字ブロックの工事後、階段から降りる子どもと車の接触が心配だ。

・歩道にポールが立っているところが多いが、自転車にも歩行者にも危険なところがある。特に、道路上での子どもの事故が心配。いろんな場所で事故の危険性を感じるし、車のスピードの出し過ぎも気になる。

・子供関連の情報、事故・犯罪情報などを、「安まち」メールを活用するなどして、タイムリーに発信提供してほしい。また、保護者などからの情報を集める工夫が必要に思う。

・子どもがボール遊びができる場所(学校・公園など)や、可能な日・曜日・時間帯などを工夫してほしい。

青少年育成会・久宝寺ジュニア会

実施日：平成27年2月7日 参加：三十名

○活動の紹介

・育成会は、久宝寺小学校の児童を中心に加入している子供会です。現在、十四地区約一七〇名の児童が加入しています。

子供中心の年間行事として、「ドッチボール大会」「校庭キャンプ」「子どもまつり」、それと子ども会長のリーダー研修などを年間行事としています。

・久宝寺ジュニア会は、「和と協調性で、その時を楽しんでもらいたい」を活動の主旨として、久宝寺地区八名、美園地区二名、合計十名の青少年指導員のもとで活動しています。

主な活動としては、「スポーツ交流会」

「市子連ソフトボール大会」「ボーリング交流会」のほか、久宝寺福祉委員会、コミセン・小Pなどの行事に参加し、月一回の定例会・巡回を行っています。

(次頁に続く)



楽しい「子どもまつり」のひとつ





「どこにあるかな…あつあつ！」

○意見と要望

- ・ ☆久宝寺で、子どもを育てて良かった点
- ・ まちなみが古く歴史があり、久宝寺ならではの行事に参加できるのが子どもによいと思う。
- ・ 大人と子どもがまじわられる行事が多いのがよい。
- ・ お年寄りをいたわる子どもが増えているようにみえる。もっと増やしていきたい。
- ・ 寺社や行事が多く、身近に接することができて、あたたかさを感じる。
- ・ 大人になっても地域に残る人が多く、交流も活発で、見守ってもらえて子育てがしやすい。
- ・ 地域のひとと子どもの間でも顔見知りが多くて、安心に思える。
- ・ 小学校の児童と独居の方の「年賀状交流」は、素晴らしい。
- ・ 子供会に入ること青少年指導員となり、人とかかわりが増えて勉強になった。



(写真提供 道明義弘さん)

消防団屯所(とんしょ)の物見櫓(ものみやぐら)

★地域へ向けた要望と変えてほしいこと

- ・ 地域に遊び場所がなく、ボール遊びをする所もない。
- ・ 下校時、人通りが少なくて不安を感じる。
- ・ 人と人との交流が多いはずなのに、南久宝寺へ行く道が少なく、事故があるなど危険を感じる。
- ・ お年寄りや若い人の事故が多いので、地域で「自転車教室」を実施してはどうだろうか。
- ・ 許麻神社から府道にでる交差点は、信号を守っていない場面もあり、とても危険に感じる。
- ・ 細い道で一方通行になっていないところがある。久宝寺一丁目の笛吹川沿いは、ミラーもなく、道も細いので危険に思う。
- ・ 「子ども会」への加入率が少ないのは、働く親が多いのが大きな理由に思う。活動に当たって、親への負担を少なくしてほしい。
- ・ 「子ども会」には協力的だが、町会活動には非協力的な人を見受けられる。
- ・ 地域行事に親がもっと参加してほしい。
- ・ 「町会・子ども会」への加入率向上にむけた取り組みが必要ではないか。
- ・ 「燈路まつり」開催時の駐輪場の場所に工夫がいる。
- ・ 「るるん教室の昔遊び」は、狭い体育館の中で、年齢差のある子どもが入り混じり、危険なので配慮が必要ではないか。

八尾市消防団 久宝寺分団

実施日：平成27年2月28日 参加：十二名

○活動の紹介

八尾市消防団は、十分団二百八十名の団員で組織されており、市民の生命と身体、及び財産を火災や自然災害から守ることを目的に活動しています。

久宝寺分団は、分団長以下十二名の人員で、久宝寺中学校校区と渋川町を担当しています。

主な活動は、「春・秋の火災予防運動・歳末特別警戒などの巡回」「出初式への参加」、そして「燈路まつり」「市民スポーツ祭」「防災訓練」など、地域活動へも参加、そのほか、毎月一日の広報活動と定例会議・放水訓練を行っています。

○消防団参加の動機と入団後の感想

- ・ 先輩からの紹介で参加した。
- ・ 消防団は、素晴らしい機動力があると感じた。
- ・ 「入団したかった」「入団してよかった」「町の見方がかわった」
- ・ 誘われて入団したが、最初は、いやだった。しかし、消防団の熱意を感じ、感化された。
- ・ ソフトボールつながりで入団した。
- ・ 何か地域の役に立ちたいと思った。活動は厳しいが、やりがいがある。

○意見と要望

- ・ 自主防災組織との連携を深めるため、消防団員も自主防災組織に入るべきだ。
- ・ いざという時の連携のため、周辺企業との連携も必要ではないか。
- ・ 町会毎の一次避難場所を明確にしておきたい。
- ・ できるだけ広い場所の方が安否確認しやすい。
- ・ 消防として、年末にひとり暮らし高齢者を調査訪問するが、いざという時のために、対象者を地域と確認・調整をする必要がある。
- ・ また、「災害時要配慮者プラン」についてもすり合わせがいる。



小学校校庭での子どもたちとの交流(好きやねん久宝寺まつり)

- ・ 消火活動の妨げにならないように、狭い道路や通路からゴミ・荷物などをなくすように、地域と連携した対応が必要だ。
- ・ 空き家の危険性(出火や崩壊)に気を配る必要がある。囲いやフェンスが必要ではないか。
- ・ 消火栓ひとつでの給水量は、限られる。
- ・ 町会単位で消火栓・貯水槽・井戸の位置を知っておかなければならない。
- ・ 地域での緊急避難場所として、企業の建物や駐車場があり、その協力を増やしたい。
- ・ 「防災」についての講演を消防団も協力してやってみたい。
- ・ 「土曜スクール」などを通じて、子どもたちや学校にも「防災」を伝えていきたい。
- ・ ライフラインが止まると、ポンプは機能しなくなる。発電機の設置が有効。
- ・ 消防団でも小型ポンプを増やしたいが、消火器についても地域毎に一定程度必要に思う。



### 何でも言わん会

#### 自治振興委員会(町会)対象

○久宝寺地区を3つに分けて開催しました。

・一回目 平成27年3月6日

・栄町・真砂一、二・常盤・旭町・高砂・本町一、二、三

・北町一、西町一、二・中町町会 十七名

・二回目 平成27年3月20日

・府住一、二、三・新町一、二、三、四、五、六、七・

・北府住・北町二、三・GM一、二、三町会 二十名

・三回目 平成27年3月27日

・老松・東町一、二・南久宝寺神武・南町一、二、三

・シャルム町会 十八名

○全体のご意見を、次のようにまとめました。

1 環境・美化に関する事

2 防犯・防災に関する事

3 安全・衛生に関する事

4 高齢者福祉に関する事

5 子ども・子育て・学校に関する事

6 町会運営に関する事

7 福祉委員会運営に関する事

8 その他

※☆は主催者の回答又はコメントです。

#### ○意見と要望

1 環境・美化に関する事

・寺内町の大水路に犬の死骸が遺棄されたり、相変わらず家の前に犬の糞が放置されたりしている。住民としてマナーを守れないことがあるのは残念です。(中町町会)

・三町会が協力して、ポイ捨てされるゴミ・タバコの吸い殻などの掃除と啓発活動をして、環境維持に努めている。(本町一、二、三町会)  
・地域の生活道路の凹凸がひどく、整地を市へ要望していたが、実施の目処がつかない。時間はかかるが要望は聞いてもらえることを実感した。(本町三町会)

・南久宝寺地区には広い公園がありません。三年前に、八尾市に要望した経緯があるがまだ実現していません。(南久宝寺神武町会)

・寺内町の寺井戸跡は花が美しく感じますし、自分も手伝いたいのです。(府住町会)

・カラス・猫によるゴミ袋の漁りが多く散らかして困っている。ゴミ回収時間に合わすとか、生ゴミを二重袋にするなどの工夫も必要。(北府住町会)

・北府住の西側道路にトラックが長時間止まり、荷卸し・エンジンふかしなどで、通行の妨げや騒音になっている。(北町町会・北府住町会)

2 防犯・防災に関する事

・久宝寺第二公園の明りが暗い。明るく出来ないだろうか。(東町町会)

・塾通いの子どもが通う通路に暗いところがあり危険と思う。街灯を増やすこともあるが、門燈を極力つけてもらいたい。(高砂町会)

↓以前から、顕証寺前が夜間に暗くて怖いので街灯を要望されていたので、設置することにしました。寺内町の大水路沿いも暗くて怖いという意見を聞いています。また、寺内町全体としてオレんじ燈が暗いという意見もある。寺内町まちづくり推進協においても検討してもらいたい。

通常の町会内の防犯灯の設置やLEDへの変更は町会での対応が基本です。

・夜、北府住の一階自転車置き場付近で、他地区からの若者がたむろしてタバコを吸うなどして治安上心配なので、警察のパトロールをしてほしい。(北府住町会)  
・顕証寺交差点の本町側に防犯カメラを設置した。事故・犯罪の抑止効果は大きいと思われ、今後も増やしてもらいたい。(全体)



田中市長も参加されての「何でも言わん会」風景

3 安全・衛生に関する事

・笛吹川の久宝寺一丁目の暗渠の話はどうなっていますか。高齢者・自転車通行に危険です。(老松町会)

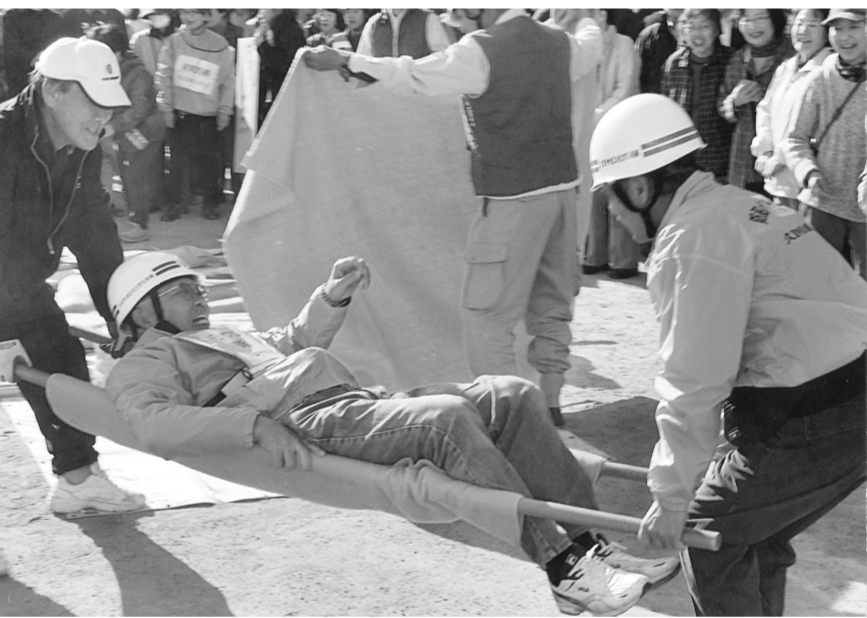
↓福祉委員会として経緯など調査します。

・顕証寺交差点から寺内町へ入る道路の途中の十字路付近は、通勤・通学時に子どもが多く、車のスピードも速いので危険。通学は、顕証寺交差点から府住側に曲がり、小室歯科前から小学校に行く方が安全では。(老松町会)

↓通学路やコースは学校が関与されていると思われるので、確認と相談をしたい。表示(標識)については警察と学校との協議が必要。歩道を自転車が多く走り危険で、接触事故も多い。

↓自転車の夜間無灯火が依然と多いので、警察の取り締まり強化を望む。

・自転車は、専用道か道路の左側通行が基本。歩道での自転車との接触事故が多いので運転者は降りて歩くなどの注意が必要。  
・北府住から大通りに出るところでの接触事故が多いのでミラーの設置を希望したい。(北府住町会)



防災訓練のひとつ「乗せられても、運んでもしんどいなあ」

・八尾平野線南町と南久宝寺を渡る横断が危険で、ここでの死亡事故や交通事故も起きています。今後、南久宝寺側の住宅増加に伴い車や人の往来も増えるし、夜間も暗いのでさらに心配される。(南町三町会・南久宝寺神武町会)

横断歩道は、警察とも相談したが、踊場が必要で無理とわかり、道路に専用の注意の表示をした。

・町内道路のバイク往来の危険と騒音に困っている。(本町一町会)

・古い二階建て集合住宅の階段が劣化して崩壊しそうで危険。(新町町会)

↓近く撤去の予定です。

4 高齢者福祉に関する事

・老人ホームや高齢者住宅と、保育所を一緒の施設としてはどうか。保育待機児童対策と高齢者にも有効ではないですか。(全体)

・民生委員からひとり暮らし高齢者に配布されている「緊急情報キット」を町会でも関わりたい。(南町三町会)

↓キットは民生委員がひとり暮らし高齢者(六十五歳以上)に配布している。ただし老々介護の方など必要に応じて対応している。必要の方がおられたら、民生委員にお知らせください。なお、すでに配布した先については再訪問して内容の確認に、順次取り組んでいきます。(次頁に続く)



「花みずきの会」の運動風景





「久宝寺はとぼっぼ」で、サンタさんとお話し

- ひとり暮らしの方の名簿と連絡先を出張所で保管して、必要な時に教えて欲しい。(新町町会)
- ▽現状は、民生委員が六十五歳以上のひとり暮らし高齢者を把握しています。今後、行政も「要援助者のリスト」を地域に提供することも検討中です。
- しかし、近隣住民の「異常の気づき」と「気づいたら、周りに伝達・報告すること」が最重要です。「異常の気づき」とは、「回覧板が返ってこない」「夜間電灯がついていない」「新聞や郵便が溜まっている」などです。
- 住民の緊急連絡先が必要になることもあるので、町会と民生委員が連携を深めるなどして一元化を図っていききたい。(南町三町会)
- 認知症が疑われる場合に、どう接したらよいですか。徘徊されるような方に名札やGPS利用システムの採用も必要と思う。(新町町会)
- ▽5月22日の夜にコミセンで住民懇談会「認知症を学ぼう」を開催します。是非参加をお願いします。
- これからは高齢者も増えるので、住民同士の「声掛け」や「見守り」が、より大切になり、「見守り体制の強化」が必要と感じる。(新町町会)
- 市は、高齢者の医療費の削減の対策のひとつとして予防に力を入れようとしているので、「筋力トレーニング」のような「体力と健康維持策」に費用補助してもらいたい。(全体)

**5 子ども・子育て・学校に関すること**

- 子どもが、通常入らない路地に入るの、注意したが無視される。(全体)
- ▽そのような場面を見かけられたら、学校へ連絡してください。特に、タバコ・シンナー・火遊び・非行・危険な遊びなどは気がついたらすぐに学校に連絡ください。
- 中学生が下校時に道路いっぱい横に並んでいるので通行の邪魔になる。
- 地域の公園などではボール遊びは禁止なので、放課後や長期の休みには、校庭を開放してほしい。(全体)

**6 町会運営に関すること**

- 本町第二公園の集会所が三百円で利用できません。(本町一、二、三町会)
- 災害対応として「火災報知器の増設」「地区簡易倉庫に緊急時食糧の備蓄検討」「手押しポンプの増設」などの支援を要望します。(栄町町会)
- 戸建て住宅が久しぶりに増えるので、近隣三町会が仲良く連携して助け合えるように引き継いでいきたい。(西町町会)
- 市のゴミ袋が最近、幅が三センチ狭くなっているのに気づいた。定型のゴミ箱に収まらないので困るので元にもどしてもらいたい。(北町町会)

▽調査します。

- 住人の転居、空き家の増加で班の人数が減っていき、街灯費など、自治の運営がしんどいので、久宝寺全体で考えてもらえないか。(新町町会)
- 植松町の旧植田邸は、子どもの宿題の場所や遊び場所などの居場所として開放されている。子どもの時から地域を守り、愛するところを育んでいると感じるので、久宝寺でも見習いたい。(全体)
- マンションの高齢化が進み、マンション内の自治会役員の引き受け者がいない。(グリーンマンション町会)

▽ひとり暮らしの班長さんもおられ、受ける前は不安にされておられたが、役割をすることでやりがいも感じておられる。できる役割をしてみらうのがよいのではないだろうか。

- 地域に集会所もなく、交流の場がないので、地域に高齢者がいつでも集え、憩える集会所がほしい。(北町町会)
- ▽高砂町会では、空き家を集会所として借りているが、家賃は町会が負担している。
- 掲示板的効果に疑問を感じる。見ている人がいないと感じる。掲示と回覧の役割などの見直しが必要ではないだろうか。また、掲示物は雨・風に弱い。(南久宝寺神武町会)
- ▽掲示ポスターを頼りにされている人は多い。掲示の方法は町会長が工夫されている。
- 掲示板が固くて、押しピンでとめるのに苦労する。(全体)
- 回覧板をあまり読まずに、見ていないと言われる。原因は回覧物が多いこともあるので、二回に分けるなどしてもらいたい。(府住町会)
- ▽町会長の判断と工夫をしていただいたらよい。
- ▽本町三町会での回覧法の例を紹介。A4、一枚程度にまとめた「告知・連絡事項の表紙」をつけてわかりやすくする工夫をしている。



小学校・幼稚園のPTAのみなさんの「みこし」(福祉委員会新年懇親会)

**7 福祉委員会運営に関すること**

- 久宝寺全体として高齢化が進んでいて、福祉委員会も引き継げる若い人が少ないので、後継者問題に早く取り組んでもらいたい。
- 福祉委員会の行事全体について、今後も継続出来るかどうか見直す必要もあるだろう。高齢者やひとり暮らしの方への、地域でのサポートが今後地域の負担にもなってくるだろう。
- 福祉委員会に、一般住民対象に「ボランティア登録制」を提案したい。各部会・団体の高齢化やメンバー不足に対して、新しいメンバーの参加を促すことにもなるのではと期待する。(全体)
- 役を引き継いでもらえる、若い人材を育ててもらいたい。(新町町会)
- ▽福祉委員会として、今後も、より高齢者問題や認知症問題に取り組んでいきたい。

**8 その他**

- 顕証寺の近くに住んでいるが、他所からの見物者も増えていて、顕証寺などのことを聞かれることも多いので、久宝寺の歴史を学びたい。(老松町会)
- ▽まちなみセンターにはガイドもいるし資料もありますので行かれたら勉強できます。
- ▽今後住民対象に歴史勉強会も計画します。(寺内町まちづくり推進協)

訃報のお知らせ

永年、久宝寺地区で公私共々ご尽力を賜りました乾 芳子様が、2月24日にご逝去されました。(享年九十六歳)

乾 芳子様は、久宝寺地区福祉委員会・女性会などで大変ご活躍とお世話をいただきました。これらの業績をたたえ、感謝しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

久宝寺福祉委員会委員長

津川 勝